

ときおり路傍に見かける石仏。どれもみんなさうい表情をしている。この道筋にはかつて哀歎を背負つた人が通り、その忘れ形見として今も残っている。南生駒から枚岡へ通じるこ暗越へらがりじえ奈良街道には、いまも石仏が残り、われわれに微笑を送ってくれるのだ。前号の暗越 応願寺、鹿尾を経て石松の道は西畠へと繋く。

心じそつとひよ風、やすらぎを与えてくれるやさしさを秘めている。この西畠の集落は、大和棟の古民家が多い。牛廻の東壁はやはり大和文化圏である。重厚な瓦屋根に白漆喰い、それに加えて牛廻が通じて西畠の阿弥陀磨崖仏。このあたりから峠まで路傍の石仏があめうきの多くなってくる。見逃してはならないのが町時代の作で西畠の阿弥陀磨崖仏。小作りで、下からはお顔もはっきり併めないが、切り立った岩肌の上から道ゆく人に、ほほえみかけているようである。そのお姿は、疲れた

までも右仏が残り、われわれに微笑を送ってくれるのだ。前号の暗越 応願寺、鹿尾を経て石松の道は西畠へと繋く。

秋 元 良 治

西欧22日の旅から

朱色の瓦に映える花

フルネサンス発祥の地 ローレンス

<上>

全国小・中・高教師四十二名で編成した視察団の団長を拝命して、二十二日間の日程で西欧諸国を周してきた。いまでは新婚旅行も海外へといふ世の中になってしまったのか、私の訪欅にしても帰郷報告など大げさに考える必要はないから。

しかし、幸いなことは、ヨーロッパ大陸滞在中は一切航空機を使用せず、ローマをあり出し、私たち団だけの専用バスイタリア、オーストリア、スイス、ドイツ、ベルギー、フランスという順序で巡った。あつた。したがって、これらの國々の文化、風土、料理も味あつた。いわば觀光都市だけではなく、田舎の村々なども訪ねたし、地方のワインや料理も味あつた。これができた。

さて渡航前、私がローマやパリやベニスの見学よりも、いちばん期待しておつたのは、街の名が花の都という意味をもつて、冬にはまだもかなりの雪が積るわけだと、人々がよく話してゐるのは西畠に住む明治うまれのおばあさん。

細かに、のんびりしてたわむねい今までもかなりの雪が積るわけだと、人々がよく話してゐるのは西畠に住む明治うまれのおばあさん。

この家の、これはわしの主人のお父さんが建てたもので、まことに、もうほんのやうな力で、下からお顔もはっきり併めないが、切り立った岩肌の上から道ゆく人に、ほほえみかけているようである。そのお姿は、疲れた



フローレンス・シニョリア広場で（中央が筆者）

いらっしゃいませ びわ湖国定公園 近江路の旅へ

収容
浴場
設備
防災
駐車場

600名様
150名様
全館冷暖房
諸設備完備
バス20台

政府登録
国際観光旅館 **びわ湖ヒューリスト・ホテル**
大津市におの浜3丁目2-25 電話 大津(0775)24-2321

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒にです。

集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された《スズカビレッジ》

●全館冷暖房完備
●防火優秀ホテルとして消防庁長官賞受賞

2人で1台実物のエンジンを分解・組立て
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。
空へ、水へ、緑の中へ…自分でハンドルを握る「ゆうえんち」。
国際レーシングコースを走るレーザー気分も……
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで校歌を歌うひととき——
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も忘れがたいもの、どれを取っても学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。



昨年一年間で11万人もの学生さんがこの思い出深い修学旅行を体験しています
「人と科学と自然の接点」
今年の修学旅行こそスズカを加えた
《新近畿ルート》をご検討ください。
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。
陽気なビッグ・レジャーランド

三重県鈴鹿市稻生町
電話=0593(78)1111
本社：東京都中央区八重洲2-6-20 ☎03(274)5821
大阪営業所：大阪市北区芝田町2-1-1 ☎06(372)1526
株式会社 ホリダーランド

旅

旅人にやすらぎ

暗越奈良街道の石仏

民家にみる簡素な美しさ

西畠の阿弥陀磨崖仏。このあたりから峠まで路傍の石仏があめうきの多くなってくる。見道ではないが、切り立った岩肌の上から道ゆく人に、ほほえみかけているようである。そのお姿は、疲れた

冬にはいままだもかなりの雪が積るわけだと、人々がよく話してゐるのは西畠に住む明治うまれのおばあさん。

細かに、のんびりしてたわむねい今までもかなりの雪が積るわけだと、人々がよく話してゐるのは西畠に住む明治うまれのおばあさん。

この家の、これはわしの主人のお父さんが建てたもので、まことに、もうほんのやうな力で、下からお顔もはっきり併めないが、切り立った岩肌の上から道ゆく人に、ほほえみかけているようである。そのお姿は、疲れた

冬にはいままだもかなりの雪が積るわけだと、人々がよく話してゐるのは西畠に住む明治うまれのおばあさん。

この家の、これはわしの主人のお父さんが建てたもので、まことに、もうほんのやうな力で、下からお顔もはっきり併めないが、切り立った岩肌の上から道ゆく人に、ほほえみかけているようである。そのお姿は、疲れた

冬にはいままだもかなりの雪が積るわけだと、人々がよく話してゐるのは西畠に住む明治うまれのおばあさん。

この家の、これはわしの主人のお父さんが建てたもので、まことに、もうほんのやうな力で、下からお顔もはっきり併めないが、切り立った岩肌の上から道ゆく人に、ほほえみかけているようである。そのお姿は、疲れた

冬にはいままだもかなりの雪が積るわけだと、人々がよく話してゐるのは西畠に住む明治うまれのおばあさん。

この家の、これはわしの主人のお父さんが建てたもので、まことに、もうほんのやうな力で、下からお顔もはっきり併めないが、切り立った岩肌の上から道ゆく人に、ほほえみかけているようである。そのお姿は、疲れた